

はやま もり 麓山の杜みどり通信

発行元 公園振興事務所「とんがりふれあい館」
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17
TEL924-2194 FAX924-2195

冬に向い樹木もひと休みの季節に入ってます

麓山の杜 ホールのクリスマス



平成23年度「みどり講習会」

次回 3月11日(日)午前・午後開催
場所 麓山の杜『杜のエンタランス』

テーマ 「記念樹の育て方初歩講座」
時間 午前 10:30 午後 13:00

なお、季節のワンポイントの「作業実演」
小果樹の育て方と基本用土の作り方

記念樹交付「10時～15時」他は事務所へ

ガーデニング ワンポイント

葉が落ちる樹木の「剪定と植替え」適期

師走を迎え何かと気ぜわしい思いの方が多くいらっしゃることでしょう。大震災、原発事故、水害と未曾有の災害が続き未だ終息がみえない状況です。気温も下がり遠くに望む山並みも白く雪化粧をし初冬の景色に変わってきました。そのような中で郡山駅前広場をはじめ樹木に付けられたイルミネーションが私達を楽しませてくれています。

【水やり】 植えつけてまもない物は、寒風により乾きやすくなります。これからの時期でも注意が必要です。暖かい日の昼前頃に水やりをします。風よけやマルチングで乾燥を防ぎます。

【肥料】 これからは一般的にあげません。来春の寒肥まで待つのがベストです。

【病害虫防除】 退治しにくいカイガラムシなどは冬季に行う石灰硫黄合剤やマシン油乳剤散布が効果あります。ただ薬剤散布には注意が必要です。

【剪定】 落葉樹の剪定はこれからの適期となり強剪定も可能になります。カエデ類は早めの剪定だと樹液が出にくいので樹勢を弱めにくいです。常緑広葉樹は来春まで待ちます。マツは古葉を取ったりするもみ上げといわれる作業の時期です。同時にこみあっている枝は間引きをします。

【植え替え】 常緑樹は寒さに向かう為むきません。落葉樹はこれからの適期になります。針葉樹も何度か霜が降りれば植え替えが可能です。植え替えの場合は土壌改良が必要になります。ただ放射能汚染により腐葉土や堆肥などが手に入らなかったり危険な物ととらえがちですが、安全な物は流通しています。秋植えの草花も遅くならないうちに花壇に植えこんで、根を出させるようにします。



記念樹交付日イベント・緑化相談等予定表

交付予定日	みどり講習会	季節のワンポイント
3月11日	記念樹の育て方初歩講座	小果樹の栽培 ① ナツハゼ、カシス等 ② 基本用土づくり

「樹木剪定」の除染効果を公園で実験！

対象名	実験前	実験後	備考	実施後	実験前との比較
表土	3.5	0.7	1 枯葉の除去	3.1	▲ 0.4
			2 表土 1cm 除去	0.9	▲ 2.6
			3 表土 3cm 除去	0.8	▲ 2.7
			4 表土 5cm 除去	0.7	▲ 2.8
通路(カラー舗装)	3.5	2.6	1 高圧洗浄	3.3	▲ 0.2
			2 高圧洗浄+ブラシ掛け	2.6	▲ 0.9
側溝(コンクリート)	5.4	1.5	1 堆積土砂撤去	1.5	▲ 3.9
			2 高圧洗浄	1.1	▲ 4.3
トイレ(西側:雨どい下)	5.4	1.5	表土 3cm 除去		▲ 3.9
低木剪定(カイツカイブキ)	3.6	1.4	軽剪定(新芽剪定)	3.2	▲ 0.4
			強剪定(刈込み)	2.5	▲ 1.1
			樹木下表土 3cm 除去	1.4	▲ 2.2
高木(ヒマヤラスギ)	2.0	1.9	枝撤去(空間線量 1.5m)		▲ 0.1

※荒池西公園の除染実験の結果表(郡山市ホームページより)

表土の削り取りでは、大きな効果が数字に示されています。関心をもって見ているのは樹木の剪定で、一定の効果はあるといえます。大事なことは、効果の問題はあるにしても少しでもセシウムを減らすということですから、除染の努力は続けなければなりません。

防寒対策のワンポイント

一般に常緑樹は寒さが苦手な樹種が多く存在します。またガーデニング雑誌で見かけて郡山市近郊では不向きな南方系の樹木を植えたいという人もみられます。この場合、冬越しが一番のポイントになります。

鉢植えなら室内などに取り込めば済むのですが、庭植えではそうはいきません。私達なら毛布にくるまって寒さをしのぐ事ができますが、植物は光なしでは生きていけません。防寒のポイントは樹木に光をあてながら寒さを極力通さない資材で囲っておくことが大事です。露地野菜の栽培で使われる霜よけシートが効果的です。薄い紙のような状態ですが使用するとまるで違います。葉を傷める事もかなり防げます。商品は各種あります。植付け間もない場合の使用も効果的です。